【学校図書館活用教育】「学び方指導体系表」～松江市の子どもたちの情報リテラシーを育てる～　第７版（令和７年度改訂）　【案】

松江市学校図書館支援センター

※　「○」は指導事項　　「＊」は例示　「()」は行為

			小学１年生（１年生）	小学２年生（２年生）	小学３年生（３年生）	小学４年生（４年生）	小学５年生（５年生）	小学６年生（６年生）	中学１年生（７年生）	中学２年生（８年生）	中学３年生（９年生）
育てたい子ども像			主体的・対話的で深い学びの実現を図り、学びに向かう力や豊かな感性・知性を育てる								
			読書に親しみ、いろいろな本があることを知るとともに、学ぶことに興味や関心をもち、自分の思いや考えを伝え合う児童		幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付き、学んだことを関係付けながら学び合う児童		日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付き、課題解決に向けて考えを深め合う児童		読書の意義と効用を理解するとともに、多様な情報を主体的に活用しながら探究的に学びを進める子		
☆ 知る		図書館の利用	○本の借り方・返し方を知る 上22 ＊場所・設備・展示 ○マナーや学校司書の存在を知る 上22 ○読んだ本を記録する　＊読書記録ｶｰﾄﾞ 上30、125	○学校司書に相談する 上26	○検索機で本を検索する 上28後 ○百科事典や図鑑を使う 下66 ＊目次・索引	○様々な人が読書を楽しめるように工夫された本や道具があることを知る 上28 ＊点字付き触る絵本・大活字本・ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱﾃﾞｲｼﾞｰ・ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾗｯｶｰ		○社会教育施設を利用する 34 ＊図書館・文学館・歴史資料館・博物館・科学館・美術館 ＊読書・情報記録ｶｰﾄﾞ	○図書館で情報を集める 80 ＊日本十進分類法・目次・索引		
		[小]本はともだち [中]いつも本はそばに	○好きなお話を紹介する 下84	○好きな人物が登場する本を紹介する 下66	○ノンフィクションの本や図鑑を紹介する 下64 ＊紹介ｶｰﾄﾞ	○ブックトークをする 下172	○関連する本と本のつながりを考えながら読む 204 ＊読書ﾏｯﾌﾟ	○読書体験を振り返る 204	・本を紹介する（ポップ） 84 ・感想を交流する（読書会） 84 ・読書生活を楽しむ（読書記録の継続） 85	・本を紹介する（ブックトーク） 82 ・感想を交流する（読書ポスター） 82 ・読書生活を楽しむ（読みたい本リスト） 83	・本を紹介する（「私の一冊」） 86 ・感想を交流する（ブックレビュー） 86 ・読書生活を楽しむ（読書傾向の分析とこれから） 87
		分類・配架	○本は仲間分けがしてあること知る 上94	○本の分け方や並べ方を知る 上28、 ＊分類表示・案内図・本のﾗﾍﾞﾙ 下66	○日本十進分類法(NDC)を知る 上28、 ＊請求記号(分類記号・図書記号・巻冊記号)	○日本十進法(NDC)の仕組みを知る 上28、 ＊本のつくり 104、 ＊奥付(書名・発行年月日・作者・筆者・出版社) 下72	○目的に応じた様々な資料があることを知る 32				
A 課題の設定		課題の設定	○身近なことから話したいこと・知りたいことを見つける ＊思考ﾂｰﾙ	○テーマに沿って調べたいことを決め、学習の見通しをもつ ＊取材			○課題の解決に向けて、調べるテーマを決め計画を立てる		具体的な事象を比較、関連付けるなどして課題を見出し、その解決のための計画を立てる ＊思考を広げる方法（思考ツール） 9・16		
			いろいろな情報があることを知り、必要な図書等で知りたいことを調べる		目的に応じて、いろいろな方法で必要な情報を集める		資料の特性を考慮しながら、課題解決に必要な情報を集める		課題解決のために、メディアの特性を考慮しながら適切に情報を集め、記録し蓄積する		
B 情報の収集		情報の収集	○調べる本があることを知り、知りたいことを本で調べる ○題名から書かれている内容を想像する ○複数の本から情報を得る		○調べる方法を決める ＊観察・実験・人・本・資料・ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ ○文字や音声以外の伝え方があることを知る ＊手話・点字・色や形・記号		○多様な方法で資料を集める 58 ○多角的にとらえる 214 ○情報の特性を知る 90 ○信頼性を確かめながら複数の情報を集める 170		○目的と相手を意識して情報を集める 55 ○集めた資料から必要な情報を探してカードに記録する 81 ＊記録ｶｰﾄﾞ（情報ｶｰﾄﾞ）・資料奥付 ○図書館、博物館、資料館、インターネットから情報を集める 歴	○目的に応じて、多様な方法で情報を集める 55 ＊書籍･ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ･ｱﾝｹｰﾄ･ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ ○メディアの特徴を生かして情報を集める 76 ＊本・雑誌・ﾃﾚﾋﾞ・ﾆｭｰｽ・SNS･ﾗｼﾞｵ	○情報は全て編集されていることを理解し、情報の信頼性を吟味しながら情報を集める 84 ○実用的な文章から必要に応じて適切な情報を読み取る 76
C 情報の収集		調査（人・観察・実験）	○観察する 下38 ＊発見代・写真・動画 ○見学する 生活	○質問することをメモに書く ＊ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ ○大事なことを落とさずに聞く 上34 ○観点を意識して観察したことを書く 上50 ＊観察ﾒﾓ・観察ｶｰﾄﾞ	○大事なこと(話の順序と要点)を記録する 上28 ＊ｲﾝﾀﾋﾞｭｰﾒﾓ ○問題に対して予想や計画を立てて、観察や実態調査を行う 理科 ○計画を立てて見学する 社会	○くわしく知るために質問し、メモを取る 上34 ＊箇条書き・線や記号 ○結果を予想して質問を考える 下100 ＊ｱﾝｹｰﾄ	○目的や知りたい内容に応じた相手にインタビューする 38 ○相手の話に関係付けながら質問する 38		○相手に伝える必要があることを判断しながら要点を聞き取る 31 ○相手が答えやすいように質問を工夫して話を引き出す口（絞る質問・広げる質問） 122 ○調査の仕方を知り、野外調査や聞き取り調査をする 地歴	○質問で思いや意見を引き出す 116 ＊ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ	
D 情報の収集		図鑑、辞典、事典、統計資料、参考図書等の書籍		○図鑑で調べる（目次を見る） 下21	○国語辞典・百科事典・慣用句辞典・歳時記を使う 上38、116、下21、理	○漢字辞典・ことわざ辞典・故事成語事典を使う 上38、120	○年鑑・年表・統計資料を使う 社会		○辞典を活用して語彙を広げる 19 ＊国語辞典、漢和辞典（漢字辞典）、百科事典、類語辞典、ことわざ･慣用句辞典、古語辞典、擬音語･擬態語辞典 274		
E 情報の収集		新聞等の逐次刊行物			○広報誌を読み比べる 上90		○雑誌・新聞の利用 社会 ○記事を読み比べ、書き手の意図を読み取る 92 ＊見出し・ﾘｰﾄﾞ文				○複数の新聞記事を比較し、記者の立場や事実などの観点から読む 78 ＊報道文
F 情報の収集		インターネット情報の利用上の留意点		○インターネットの利用（ｷｰﾜｰﾄﾞ検索） 生活	○インターネットで調べる 下22 ＊市町村ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	○複数のウェブページを見て正しい情報を探す 社会	○メディアリテラシー【情報モラル】を知る 社会	○インターネットの投稿内容を確かめる 90 ○インターネットの利用上の留意点を知る 167 ・情報を精査して、適切に使う ・様々な情報を比べる ・SNSの情報に注意する	○ウェブサイトで情報を集める 80 ＊検索ﾎﾞｯｸｽ・ｱﾄﾞﾚｽ・ｳｪﾌﾞｻｲﾄの名称・制作者	○効率のよい検索方法や確かな情報の選び方を知り、適切に活用する 285	
			○QRコードを読み込んで学習の参考にする	○メールの利用 生活	○ローマ字を読む・書く 上89 ○キーボードを使ってローマ字を入力する 下37	○長音、拗音、撥音などのローマ字表記を知り、書いたり読んだりする					
G 情報の収集		出典、出所、引用、著作権、参考資料一覧等	○本の題名、作者、ページを書く			○引用の仕方を知る 上54 ○出典を書く 上54 （筆者名(作者名)、書名、出版者名、発行年）		○著作権を知る 167 ○情報の発信元や信頼性を確かめる 236	○引用のルール、出典の示し方を理解し利用する 82 ＊引用文・出典 ○著作権について知る 83		
H 情報の収集		図表、絵、写真の利用	○図や絵とつなげながら内容を読み取る 上68		○地図帳【索引】を読み取る 社会 ＊方位・地図記号 ○棒グラフを読み取る 社会	○表し方の工夫を読み取る ＊広告・ｷｬｯﾁｺﾋﾟｰ・ﾃﾞｻﾞｲﾝ ○地図帳を使う 社会 ＊地勢図･土地利用図･等高線･産業ﾏｯﾌﾟ･ﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟ ○折れ線グラフを読み取る 社会	○グラフや図表を正しく読み取る 32 ＊題・ｷｬﾌﾟｼｮﾝ・数字の単位・注・調査機関・調査年 ○写真やキャプションを文章と関係付ける 92 ○地球儀の見方や使い方を知る 社会 ○帯グラフ・円グラフから読み取る 社会		○特徴的な数値・変化・違いに注目して図表を読み取る口 146 ○地図帳の統計資料の使い方を知る ＊主題図、各種統計地図 地	○文章と図表を結び付けて読む 51 （図表の効果：意見の根拠、視覚的な情報伝達） ○グラフを読み取るときの留意点を知る 287 ＊統計の取り方、軸や目盛り、数値	○グラフから読み取れる事実と、その解釈やそれを基に考えたことを書き留める 54
I 整理・分析			順序に気を付けたり比べたりして、記録した情報を整理する		調べたことを整理したり関係付けたりする		調べて分かったことを整理したり関係付けたりして活用する		課題解決に向けて、収集した情報から必要な情報を取捨選択し、観点ごとに比較、分類、関連付けなどして思考を深める		
I 整理・分析		情報の整理	○比べて読む 上46 ○聞いたことを正しく伝える 上56 ○順番に気をつけて読む 下43 ○書いてあることを確かめる 下43 ○観点に分けて比べる 下43 ＊思考ﾂｰﾙ ○まとめてよぶ言葉があることに気づく 下56 ○伝える順序を考える 下64 ○出来事の順に整理する 下116 ＊時を表す言葉	○説明の順序をとらえる 上38 ○伝える順序を考える 下74 ＊事柄・時間・大切さ ○伝えたいことを「はじめ」「なか」「おわり」の組み立てから考える 下32 ○問い（問いの文）を手掛かりに内容をとらえる 下80 ○共通点と違いを整理する 下94 ＊思考ﾂｰﾙ ○伝えたいことを集めて選ぶ 下104 ○わかったことを地図に整理する 生活	○要点をとらえる 上42 ○段落の内容をとらえる 上42 ○全体のうち、伝えたいことの中心を考える 上54 ○要約を知り、文章を短くまとめる 下8 ＊事例 ○情報【観察・実験の結果】を分けて整理する 下16、22 ＊ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾉｰﾄ ○筆者の考えと、それを支える理由や事例を読み取る 下76 ○調べたことを整理する 下100 ＊情報ｶｰﾄﾞ・棒ｸﾞﾗﾌ	○各段落の「始め」「中」「終わり」に分けてとらえる 上42 ○段落同士のまとまりをとらえる 上42 ○集めた情報を整理する 上56 ＊折れ線ｸﾞﾗﾌ ○目的に合わせて要約する 下8 ○観点を立てて比べる 下19 ○目的に合わせて材料を整理する 下22 ＊新聞・わり付け ○話題を決め、材料を集めて話を組み立てる 下30 ＊話題	○要旨をとらえる 44 ○事実と考えを区別する 56 ○文章の構成を捉え、筆者の考えを確かめる 148 ＊「序論」「本論」「結論」 ○複数の文章を重ね合わせて読む 148	○筆者の論の進め方をとらえる 46 ○複数の情報を関連付けて読む 152 （主張）	○文章の中心となる部分をを捉える 45 ＊段落 ○文章の構成に着目して要旨を捉える 50 ○集めた情報を比較、分類したり関係付けたりして整理する 54 ○事柄・目的・相手をふまえて情報を整理する 116 ○意見とそれを支える根拠の関係(結び付き)に着目する 138 ＊事実・理由づけ ○目的に応じて要約する 185 ＊要約・ｷｰﾜｰﾄﾞ・ｷｰｾﾝﾃﾝｽ ○思考ツールの使い方を知り、効果的に活用する 地歴理 ○グラフの書き方を理解し、実験結果を整理する 理	○文章全体と部分との関係に注意して読む 50 ○情報と情報との関係の様々な表し方を理解し、思考を視覚化して整理する 52 （一定の観点、階層、軸） ○図や記号などを使って、視覚的にわかりやすくまとめる 55 ○根拠と意見の結び付き（理由付け）に着目して論理の展開を吟味し、信頼性を判断する 129 ＊意見文 ○観点を明確にして文章を比較する 179 ○具体と抽象の観点で情報を整理する 180	○具体と抽象の関係（論理の展開）に注意して整理する 52 ○軸となる意見を決め、適切な根拠を選ぶ 54
J 整理・分析		情報の分析	○書いた文章を読み返す 下140	○説明の違いを考える 上86 ＊見出し・ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ ○文章の役割に応じた説明の仕方を比べる 上86	○見出しを立てて書き出す 下22 ＊組み立てﾒﾓ ○観察の結果をもとに理由を考える 理科	○筆者の考えから自分の考えを広げる 下78 ○自分の考えとその理由を吟味する 下92、94	○読み手に伝えたいことの中心を考えて整理する 58 ○目的に応じて情報を関係付ける 164 ○相手の考えとその理由を確かめる 228 （納得、考えと理由の適切さ） ○複数のグラフを関連付けて考える 社会 ○整理した記録を考察する 理科	○説得の工夫を読み取る 90 ○原因と結果の結びつきを考える 60 ○情報を多面的に読み取る 236	○目的や相手に応じて書くべき情報の優先順位をつけ、情報を取捨選択をする 55 ○必要な情報が明確に伝わるように構成する 116 ○文章の構成や展開の効果を、根拠を明確にして考える 136 ＊仮説・検証 ○複数の資料をもとに類推する 歴	○目的に合わせて、情報を取捨選択をする 55 ○適切な根拠を選び、構成を工夫する 133	○相手を説得するために構成を工夫する 33 ○多様な読み手を説得できる論理の展開（筋道の通った考えの進め方）を考え、文章の構成を考える（意見と根拠、正確で客観的な事実） 64 ○文章を批判的に読み、評価する 135 ○多角的・客観的に分析する 136
			見つけたこと、調べたことを紹介する方法を知り、分かるように伝え合う		学習したことを相手や目的に応じた方法でまとめ、伝え合う		学習してきたことを目的や意図に応じて効果的にまとめ、伝え合う		課題解決の計画に基づいて論理的に考えをまとめるとともに、交流を通して新たな見方・考え方を広げ深める		
K まとめ・表現		ま　と　め	○知らせたいことを絵と文で書く 上102 ＊絵日記 ○調べたことを書く 下52 ＊乗り物ｶｰﾄﾞ ○文章を読み、よいところを見つける 下140	○調べたことをわかりやすくまとめる ＊どうぶつｶｰﾄﾞ ○組み立てて書く・話す ＊「はじめ」「中」「おわり」 ○気持ちが伝わる手紙を書く （お礼）	○大事なことを手紙で伝える 上112 （案内） ○組み立てメモをもとに書く 下96 ＊ﾚﾎﾟｰﾄ ○考えの理由を明らかにして書く 下42 ○短い文で表現する ＊ｷｬｯﾁｺﾋﾟｰ・標語	○段落同士のまとまりを考えて書く 上56 ＊ﾘｰﾌﾚｯﾄ ○相手や目的を考えて手紙を書く 下22 （お礼とお願い） ○引用のルールを守る 下94 ○読み手に納得してもらえるように文章を書く 下94 ＊意見文 ○調べた結果を表やグラフにまとめる 下100 ＊紹介ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ ○文章のよいところを確かめる 下128	○筆者の考えに対する自分の意見を持つ 44 ○筋道を立てて書く 58 ＊ｸﾗﾌﾞ誌・構成ﾒﾓ ○推敲する 58 ○情報同士を関連付けてまとめる 164 ＊ﾎﾞｽﾀｰ・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝｿﾌﾄ ○図表を効果的に活用する 161 ＊表・ｸﾞﾗﾌ ○反対意見を予想して書く 230 ＊意見文 ○目的に応じて文章を書き換える 264	○論の進め方を工夫して書く 62 ＊提案書 ○自分の意見を書く 90 ＊投稿文・社説 ○著作権に留意してまとめる 167 ○相手や目的に応じて情報を効果的に活用する 170 ＊ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ ○集めた情報を整理して提案することを考える 176 ＊ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ ○出来事の意味を振り返る 250	○わかりやすい話の構成を考える 35 ＊ｽﾋﾟｰﾁﾒﾓ ○さまざまな表現技法を知り、効果的に使う 68 ＊比喩・反復・倒置・体言止め・省略・対句 ○読み手の立場に立って推敲する 118 ＊案内文 ○根拠を明確にして書く 140 ＊引用・レポート ○筆者の主張に対する自分の意見を書く 184 ○手紙の書き方の形式を知る 288 ○調査結果に考察を加える（事実と解釈を分ける） 地	○話の構成や表現を工夫する 33 ○表現の効果を考えて書く 110 ＊手紙・電子ﾒｰﾙ ○敬語の種類や働きを理解し、適切に使用する 113 ○根拠の適切さ、「理由づけ」の説得力などの観点で推敲する 132 ＊統括型・尾括型・総括型・意見文 ○目的や内容に応じた通信手段を選ぶ 288 ＊はがき（往復はがき）･ﾌｧｸｼﾐﾘ	○論理の展開（筋道の通った考えの進め方）を意識して構成を考え、説得力のある文章を書く 54 ＊小論文 ○論理の展開や表現を工夫し整える 120、136 ＊推敲・批評文 ○筆者の見方・考え方を踏まえて自分の意見をもつ 178
L まとめ・表現		発表、相互交流	○話を楽しくつなぐ 下30 ○相手の話に関心をもって聞く 上110 （感想･質問） ○いろいろな伝え方があることを知る 生活 ＊ｸｲｽﾞ・絵・ﾍﾟｰﾌﾟｻｰﾄ・紙芝居・写真・動画	○楽しく話す 上92 ＊質問・繰り返し ○相手の話を受け止め、言葉をつないで話し合う 上112 ○文章のよいところを見つけ合う 下134 ○様々な方法で伝え合う 生活 ＊新聞・ﾎﾞｽﾀｰ・劇・ﾗﾝｷﾝｸﾞ・すごろく・巻物・実物	○いろいろな質問をして深める 上12 ○司会の進行に沿って話し合う 上120 ○中心が伝わるように話す 下30 ＊ｽﾋﾟｰﾁ ○分かりやすく説明するために話し方を工夫する 下100 ＊ﾌﾘｯﾌﾟ	○考えの理由を聞いたり、友達の意見と同じところや違うところを見つけたりしながら伝え合う 上14 ○役割を考えながら話し合う 上124 ＊司会・提案者・参加者・議題 ○聞き手に伝わるように工夫して話す 下30 （気持ちにあった声で話す） ○調べた結果を使って分かりやすく伝える 下100	○話をまとめたり、具体的な例を挙げたりしながら考えを深める 14 ○意図を明確にしながら計画的に話し合う 118 ＊付箋ﾒﾓ ○資料と関係付けて話す 238 ○考えが明確に伝わるように話す 238	○解決への筋道を見つけるために話し合う 14 ○自分と異なる新しい見方や考え方であっても違いを認めて受け入れる 189 ○話し手の考えと自分の考えを比べる 40 ○立場を明確にして話し合う 116 ○資料を使って提案する 176 ○考えを伝え合い、自分の考えを広げる 218 ○聞き手に思いが伝わるように話す 246 ＊ﾋﾞﾃﾞｵﾒｯｾｰｼﾞ	○聞き手の反応を見ながら間を取る 36 ＊視線・表情・身振り ○進め方について考えよう 189 ＊進行役の役割 ○資料を適切に引用できているか伝え合う 140 ○話題や展開を捉えて話し合う 193 ○プレゼンテーションの資料の作り方を知り、意見交換する 地 ○展示発表し、意見を聞く 地	○意見と根拠を整理して聞く 30 ○資料や機器を活用して話す 33 ＊ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ ○話し合いの流れを整理する 183 ○互いの立場や意見を尊重しながら話し合う 186 ＊討論	○意見を聞き、適切さを判断する 29 ○状況に応じて表現を工夫し、説得力のあるスピーチをする 32 ○相手や場に応じて、表現を使い分ける 36 ○相手の話の展開を予測しながら聞き、質問で話を引き出す 124 ＊対談 ○批評に有効な観点や表現、論理展開などについて互いに助言する 136 ○話し合いを効果的に進め、合意を形成する 183 ○話し合いの目的・人数に応じた適切な方法を選ぶ 267 ＊ﾌﾞﾚｰﾝｽﾄｰﾐﾝｸﾞ・ﾜｰﾙﾄﾞｶﾌｪ・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ・会議・ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ・ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ
M		学び方についての振り返り（学びの積み上げと広がり）	○学習の過程と結果を活動に応じて評価し、さらなる活動を見つける						○自分が身につけた力を確かめ、その力が他の場面でどう役立つか考える ○学んだことを、今後どう生かしていくか見通しをもつ		